

えりもしやくなげ

発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525

http://www.town.erimo.lg.jp/section/

kyouiku/sg6h94000000pqh.html



教育委員・地域学校推進委員のえりも中学校訪問 ～2年生のグループ学習の様子～



○1月27日、えりも中学校に教育委員と地域学校推進委員が訪問し、全学年の授業を参観しました。写真は2年A組の国語「学ぶ力」の様子です。生徒はグループになって教科書に書いてある文章から、その意味を一人一人が考えて話し合いをもつなど、主体的で対話的な学習が少しずつ深まっています。

○えりも町では、小学校と中学校が学習規律についても、統一して学ぶ姿勢の習慣化を図って進めています。

オンラインで教育向上推進委員会交流

○令和3年1月13日、えりも町教育向上推進委員会が、えりも小学校を事務局として各校をつなぐオンラインで開催された。

○例年、2学期が終わる12月後半に福祉センターで町内の小・中・高の教職員が一堂に会して行われていましたが、新型コロナ対策として分散開催となりました。

○右上の写真は、えりも小学校の推進委員の中島教諭が笛舞小、東洋小、えりも岬小、庶野小、えりも中、えりも高校と交信して発表している様子です。

○右下の写真は、各学校の取組の報告を聞き、自校の状況と比較して、どのような改善が必要かを学校毎で話し合っている様子です。オンラインを通して共有しました。

○今年度の町内小中学校の共通の取組は、次の項目 ①学習規律の徹底
②家庭学習の充実・習慣化
③互いに学び合う授業づくり
となっていました。

○学習状況調査の①②の結果も報告され、次のような状況となりました。

○小学校では、
①は6月調査より+8.1ポイントで82.0%
②は、6月より+3.6ポイントで83.3% となりました。

○中学校では、
①は6月より+0.5ポイントで81.2%
②は6月より-8.1ポイントで67.5% となりました。



えりも小の推進委員の中島先生が6校に発信



町内の7校がオンラインで交流会

○高校生では、国語、数学、英語で調査し、
①『自ら進んで学習する姿勢を大切にして、積極的に発言している』は、6月より+3.8ポイントで82.5%

②『授業で学習したことを生かして家庭学習に取り組んでいる』は、6月より-2.7ポイントで65.0% となりました。

○このように、小学生には11項目、中学生に

は10項目、高校生には9項目の質問回答を求めて、1年間の指導を振り返りました。

○小学校の回答について

【11月←6月%】

- ①国語の学習はよくわかる 【97.1 92.5】
- ②算数の学習はよくわかる 【97.1 89.6】
- ③授業中は正しい姿勢で座ることができている 【82.0 73.9】
- ④先生や友達の話最後まで聞くことができている 【94.6 96.3】
- ⑤発表するときは、みんなに聞こえる声で話すことができている 【88.7 84.2】
- ⑥授業のはじめに、学習の目標を確認している 【94.6 93.8】
- ⑦授業のおわりに、学習のまとめをしている 【97.9 97.5】
- ⑧授業の中で友だちの話の聞いたり、自分の考えを話したりしている 【95.8 93.4】
- ⑨自分から家庭学習に取り組んでいる 【87.0 78.0】
- ⑩家庭学習では、目標を立てて取り組んでいる 【78.7 77.2】
- ⑪授業で学習したことを生かして家庭学習に取り組んでいる 【83.3 79.7】

■家庭へのお願い

○調査結果からも分かるように、児童は学校での学習に積極的に取り組み、家庭学習にも取り組む姿勢がうかがわれます。

○各家庭においても学習の大切さを伝え、家庭学習によって学習したことが身に付いていくことや、学習したことが世の中でも役立つことなどを伝え、よい学習習慣を身に付けさせるよう、取組をお願いします。

えりも高校3年生による進路講話

小学校6年生とえりも中全学年が5人の先輩の体験談を真剣に聴きました



○上の写真は、2月12日にえりも町内の6年生とえりも中学生全生徒が、進路が内定した5名の先輩から体験を聴いた様子です。

○5名の紹介です。

◆岡崎大輝君（公立千歳科学技術大学理工学部合格）

◆川村旺大君（北海道千歳リハビリテーション大学理学療法学専攻コース合格）

◆吉井響基君（北海道ハイテクノロジー専門学校救急救命士学科合格）

◆佐原菜凜さん（株式会社 柳月内定）

◆水上侑真君（株式会社 モロオ内定）

○岡崎君は、『1つとして、自分が何をしたいかを見つけること、2つ、勉強は時間よりも量や回数ということ、などを本気で取り組めばできないことは少ないということ』

○川村君は、『1つは自己理解を深めよう。2つは日々の小さなきっかけを大切に。自分の進路の手掛かりになるかもしれません。3つはたくさんさんの情報で自分に合った進路を見つけてください』

○吉井君は、『「世間に目を向ける」ということ。えりも町の狭い中で競い合っている中、最後には全国の人と競い合います。特に、高校での進学・就職の試験では、全国の相手と戦うことになります。そして挨拶の大切さを』

○佐原さんは、『大切さとして、3つ、日ごろからたくさん勉強すること、コミュニケーションの力を高めること、感謝の気持ちを忘れないこと』

○水上君は、『3つのアドバイスとして、メリハリをつけて行動すること。なんでも後回しにしないこと。「力を入れた」と胸を張って言えるものを持つこと。学年が上がるにつれて、周りと言われてから行動するのではなく、自分で考えて行動しなければいけない時が多くなるので、積極的にできるようにしよう』

○5人の先輩がそれぞれ真剣に後輩に伝えている姿に感動しました。

○今後の課題は、高校側では進路決定の時期の後、中学校側ではできるだけ早い時期に聞かせたいなどがあります。今年度は、高校側の事情を考慮した開催となりました。